

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



各地からそろそろ紅葉の便りも届くようになり、秋たけなわの頃となりました。

澄んだ青空の下、幼稚園や小学校からは運動会の元気な声が

聞こえてきます。

とても厳しかった今夏の暑さを無事に乗り切った皆さんには、お変わりなくお過ごしのことと思います。

新しい月を迎え、急激な気温の変化にとまどいながらも、スポーツで汗を流し、あるいは美術館で素敵な芸術作品に触れたり、おいしいものに舌鼓を打ったり・・・それぞれの秋を堪能していることでしょう。

充実した日々を過ごすためには健全な精神と身体が伴わなければ台無しです。



体調管理をしっかりして、実り多い秋を思う存分お楽しみください！

## 快適に生活をするために！（9）

住宅は、他の商品と異なり、住まい方、手入れの仕方で寿命が長くも短くもなるものです。

いつまでも快適に暮らすための参考となるポイントについてお伝えしていきます。



### 【畳（たたみ）】

畳は日本の伝統的な床仕上げ材で、我が国の気候風土に適していることから多く用いられています。

最近では技術も進み、従来の藁床・イグサ表から化学製品（スタイロフォーム等）に変わりつつあり、ダニやカビも発生しにくくなってきました。

ただし、畳表のイグサは中国からの安価な輸入品も多く、身体に害を与えるものもありますので注意が必要です。

### 「お手入れ方法」

まず、畳の目に沿って箒や掃除機をかけて、目に詰まったほこりを除去してください。畳全体が汚れている時は、酢水で雑巾を固く絞りさっと拭いた後、

十分に乾拭きしてください。

畳の表替えは、2～3年を目安にしましょう。

### 「畳の日焼け」

1リットルくらいの水にみかんの実の部分を5個入れて煮だし、それを濾して冷まします。この煮汁で雑巾を固く絞り、拭くと漂白作用があります。

### 「煮汁やソースをこぼした時」

まず、小麦粉か塩を振りかけ水分を吸収させた後、箒で掃き、その後、掃除機で吸い取ってください。

### 「ペットの糞尿」

熱湯で硬く絞った布でたたくようにして拭いた後、更に酢をつけた布で拭き、その後、水拭きと乾拭きをしてください。

### 「カーペット」

畳の上には、カーペットなどは敷かないでください。カーペットが畳を蒸らし、ダニやカビの原因になります。



次回に続く

## 「神無月」と「神在月」

神無月（かんなづき）は、旧暦で10月のこと。

「かみなづき」「かむなづき」ともいいます。でも、あるところでは、「神在月（かみあるつき）」と、逆の意味で呼ばれています。それは何故でしょうか？

10月は全国の八百万の神様が、一部の留守神様を残して出雲大社（鳥根県出雲市）へ会議に出かけてしまうと考えられてきました。

その為、神様が出かけてしまう国では神様がいないので「神無月」、反対に出雲の国（鳥根県）では神様がたくさんいらっしゃるので「神在月」というわけです。



また、「神無月」の無を“の”と解して「神の月」とする説もありますが、「神無月」も「神在月」も、神々が集う大切な月という意味です。

## お兄ちゃんの運動会



友人から聞いた大切な思い出話です。  
運動会の時期になると、いつも思い出します。

私の 4 歳上の兄は障害者です。

小児マヒで右足が不自由だから、兄は私が 6 歳になるまで養護施設にいました。  
そして、私が幼稚園の年長になった時、兄は家に戻り、普通に小学校へ通い始めました。

兄の通う小学校で運動会が開催された日、私は母と一緒に応援をするため学校へ行きました。

兄の学年の徒競争が始まったけれど、兄は自分の席に座ったままです。当たり前のお話なのに、幼かった私は、兄の走らない理由がわからず、「どうしてお兄ちゃんは走らないの？」と母に尋ねました。

けれど、母はただ黙っているだけで答えてくれませんでした。

翌年、兄と同じ小学校に入った私は、また運動会の日を迎えました。

プログラムが進行し、兄の学年の徒競争が始まりました。



あれ～？  
見学席に座っているはずの兄の姿がない。

な、なんと、兄は先生の肩にしっかりつかまり、スタートラインに立っているではないか。  
私は自分の目を疑いました・・・？

兄は、その時まだ足にギブスをしていたため、歩く姿はとても頼りなく見えました。  
お兄ちゃん、大丈夫かな？

「スタート！」の合図で一斉に走り出す 5 年生の子供たち。

兄は、ゆっくりした足取りで歩きだしました。  
いや、一生懸命走っていました。

私は、そんな兄の姿を見ていられず、恥ずかしいからやめてほしいと正直思いました。

でも、でもその時、グラウンド全体から大きな拍手が起こったのです。  
兄の走る姿に、みんなが声援を送ってくれているのです。私も皆に合わせ拍手をしていました。

そして、兄がゴールした瞬間、涙が・・・。

後で聞いたことですが、私が幼い頃、母に「どうしてお兄ちゃんは走らないの？」と聞いたことを兄に話していたらしいのです。  
だから、兄は私のために走ってくれたのかもしれない・・・。

照れくさいので、そのことを兄に直接聞いたことはないけれど、それは私の胸の中にしまっておこうと思います。

「ありがとう、お兄ちゃん」



### 「編集後記」

金木犀の甘～い香りがあたりに立ちこめています。  
もうそんな時期を迎えたのか？と、時の経過の速さにあらためて驚かされます。  
と同時に、周囲の景色に思いを寄せる余裕さえもない自分が哀しくなります。もう少しゆっくりゆっくりと思いがらもせつかな私は・・・。  
たまには秋空を仰ぎ、深呼吸をしてリフレッシュします。  
皆さんも、どうぞお元気で過ごしてくださいね！  
今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。



ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者

渡辺 田鶴子